



# 福島県内経済情勢報告

令和5年10月

財務省東北財務局  
福島財務事務所

目次	ページ
1. 総論	1
2. 個人消費	2
3. 生産活動	4
4. 雇用情勢	5
5. 設備投資	6
6. 企業収益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住宅建設	8
9. その他項目	9

※各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

※掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

## 1. 総論

### 【総括判断】 「県内経済は、持ち直しつつある」

項目	前回(5年7月判断)	今回(5年10月判断)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある	→

(注) 5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが弱含んでいるなど、一進一退の状況にある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回(5年7月判断)	今回(5年10月判断)	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	↗
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	一進一退の状況にある	↘
雇用情勢	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小	「下降」超幅が縮小	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	↘

#### 【先行き】

先行きについては、雇用環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

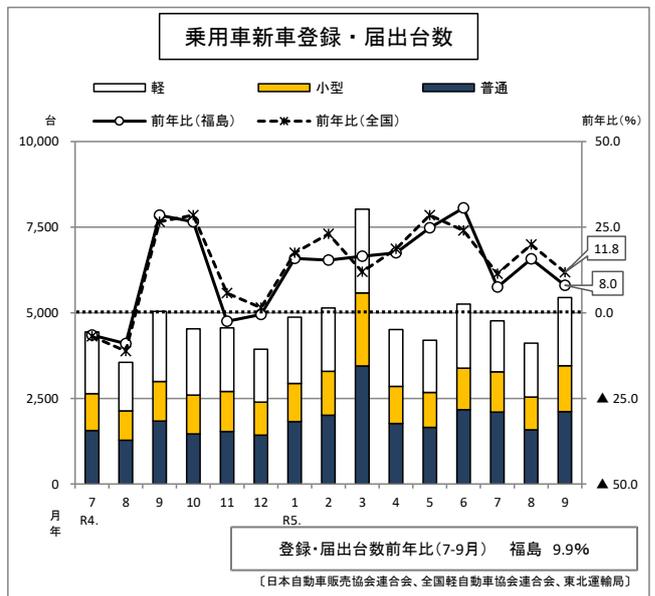
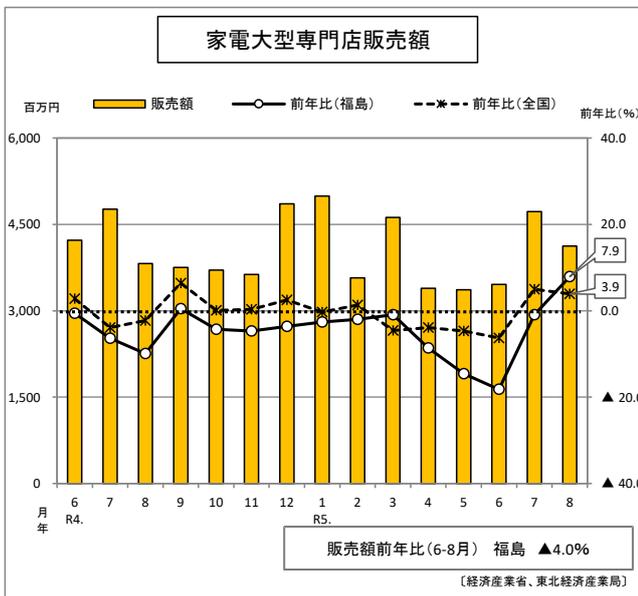
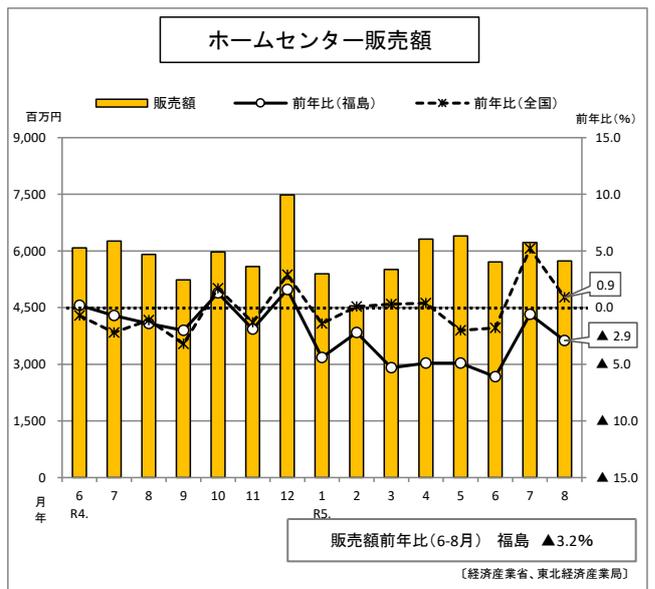
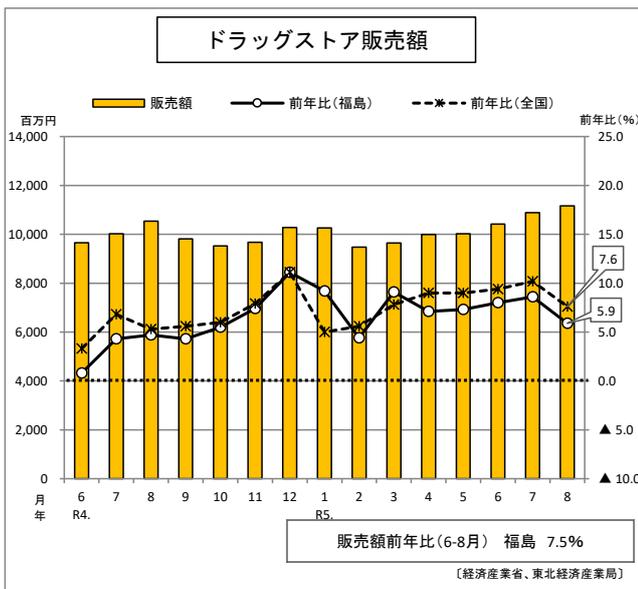
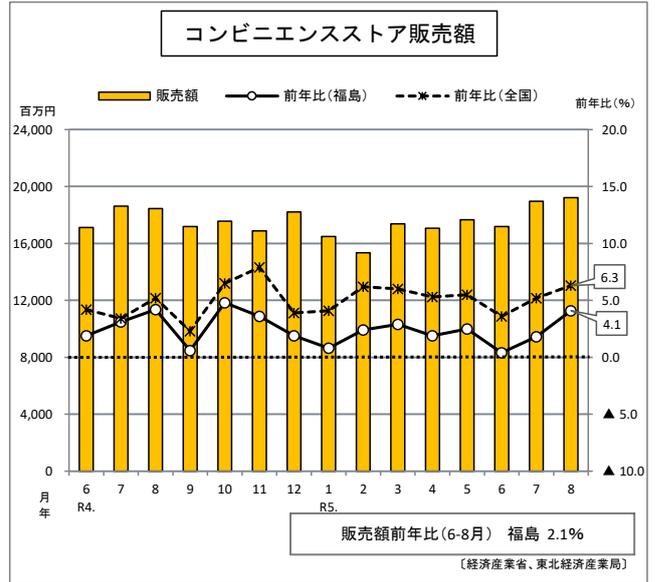
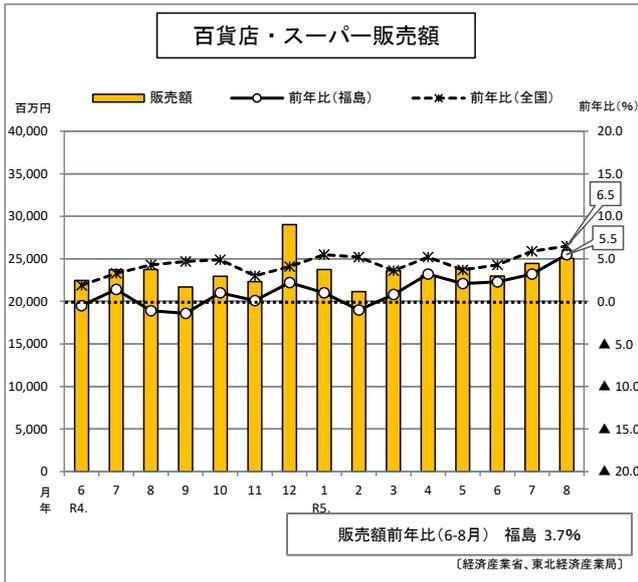
## 2. 個人消費 … 緩やかに持ち直している



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、米飯や飲料が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (3) ドラッグストア販売額は、医薬品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、木材等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、エアコンは好調となっているものの、パソコン等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (6) 乗用車販売（新車登録・届出台数）は、受注残の納車が進んだことから、前年を上回っている。
- (7) 旅行は、感染症の影響緩和により、国内が好調となっているほか、海外に動きがみられることなどから、持ち直している。

### ～ <参考> 個人消費に関する地域の声 ～

- 猛暑の影響により、アイスクリームが品切れになるほど好調となった。
- お盆期間の帰省客が増加したことから、大人数向けのオードブルや刺身盛り合わせが好調となった。
- 物価高による節約志向から、メーカー品よりも安価なプライベートブランド商品へのシフトがみられている。  
(百貨店・スーパー)
  
- 行楽需要や販売促進効果により、弁当やおにぎりの売上げが増加している。
- 猛暑の影響により、ペットボトル飲料が好調となった。  
(コンビニエンスストア)
  
- マスクを外す機会が増加したことなどから、風邪が流行し、風邪薬が好調となっている。
- 外出機会の増加により、日焼け止めや化粧品が好調となっている。  
(ドラッグストア)
  
- 木材や工具は、昨年発生した地震による被害家屋等の修繕のため需要が増加した反動により、前期に引き続き低調となっている。
- 猛暑の影響により屋外での作業が避けられたことから、園芸用品や塗料の売上げが伸び悩んだ。
- 物価高による節約志向から、日用品等の競合の多い商品では、より安価な販売店への買い回りがみられる。  
(ホームセンター)
  
- 感染症の影響緩和により、消費者の関心が旅行等に移っており、来店客数が減少している。
- 猛暑の影響によりエアコンが好調となった一方で、巣ごもり需要の反動等によりパソコンが低調となっている。  
(家電)
  
- 自動車の生産台数が増加していることから、納期の長期化が緩和され、受注残の納車が進んでいる。
- 新型車を中心に受注は好調となっている。  
(自動車販売)
  
- コロナ禍で旅行を控えていた反動により、国内旅行を中心に旅行意欲は高い状況が続いている。
- 修学旅行の実施状況はコロナ禍前と同程度まで回復している。海外旅行にも動きがみられ、台湾や韓国が人気となっている。  
(旅行)



### 3. 生産活動 … 一進一退の状況にある



- (1) 汎用・生産用・業務用機械は、自動車向けなどが堅調となっているものの、中国向けの動きが鈍化していることから、一進一退の状況にある。
- (2) 輸送機械は、半導体不足の影響緩和等により、持ち直している。
- (3) 化学は、電気自動車需要の高まりなどにより、高水準となっている。
- (4) 情報通信機械は、海外経済の減速等を背景に持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- (5) 電子部品・デバイスは、海外経済の減速を背景にスマートフォンやパソコン向けなどが低調となっていることから、弱含んでいる。

～ <参考> 生産活動に関する地域の声 ～

○自動車向けの受注は、半導体不足の影響緩和に伴い完成車の増産が進んでいることから、緩やかに増加している。  
 ○生産用機械向けの受注は、中国の景気減速の影響により伸び悩んでいる。

(汎用・生産用・業務用機械)

○半導体不足の影響が緩和していることから、バックオーダー解消に向けて生産稼働率を高めている。  
 ○北米や国内向けの受注が堅調となっている一方で、中国向けの受注は弱含んでいる。

(輸送機械)

○電気自動車向けは、高い生産水準を維持してきたものの、海外向けの受注が伸び悩んでおり、小幅な生産調整を行っている。

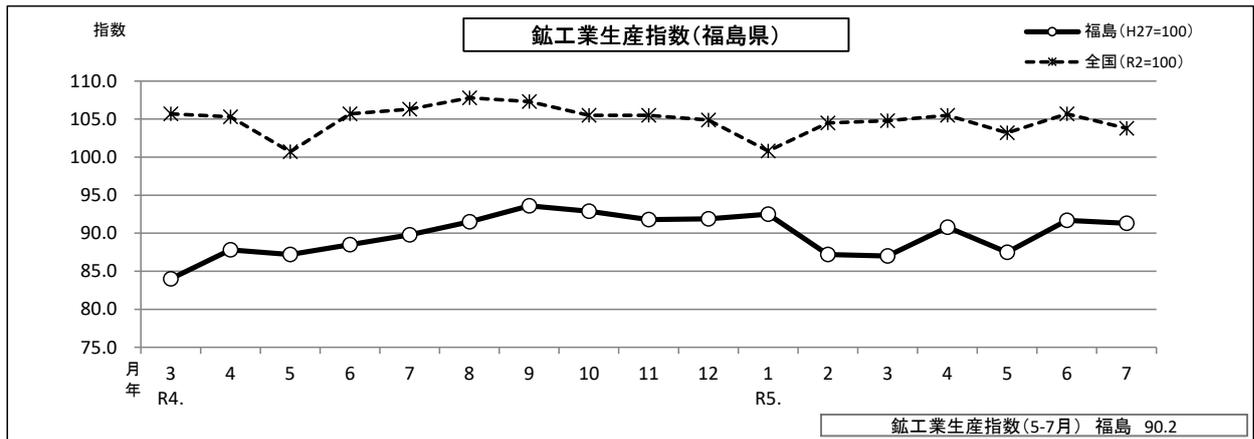
(化学)

○車載向けの受注は前年を上回っているものの、足下では欧米や中国向けで落ち込みがみられている。

(情報通信機械)

○海外経済の減速を背景に、スマートフォンやパソコンの需要が低迷しており、取引先での在庫調整が続いている。

(電子部品・デバイス)



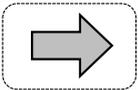
鉱工業生産指数（福島県、季節調整済、H27=100）

区分	総合 (Wt=10,000)		汎用・生産用・ 業務用機械	輸送機械	化学	情報通信 機械	電子部品 ・デバイス
	指数	前年比%	1,353.9	1,170.5	1,101.7	932.6	885.6
4年	89.1	0.9	85.7	89.1	120.4	35.5	111.2
4. 7-9	91.6	—	86.4	96.1	124.9	37.7	114.0
10-12	92.2	—	87.1	104.5	126.3	47.0	106.7
5. 1-3	88.9	—	84.1	95.3	123.9	49.0	92.5
4-6	90.0	—	86.6	111.5	124.5	42.5	102.6
5. 2	87.2	4.3	86.7	87.7	125.7	42.3	89.7
3	87.0	3.6	85.2	90.1	120.3	32.9	94.8
4	90.8	3.3	86.1	104.5	133.0	42.5	103.3
5	87.5	2.3	82.0	108.1	114.1	44.1	103.0
6	91.7	3.7	91.8	122.0	126.5	41.0	101.5
7	91.3	1.8	81.7	126.0	126.0	54.8	97.8
5. 2-4	88.3	—	86.0	94.1	126.3	39.2	95.9
5. 5-7	90.2	—	85.2	118.7	122.2	46.6	100.8

(注) 1. 前年比は原指数。  
 2. 最終月は速報値。  
 3. 4年分は年間補正後。  
 4. 5. 2-4、5. 5-7は今回の分析上参考とした期間。

[経済産業省、福島県]

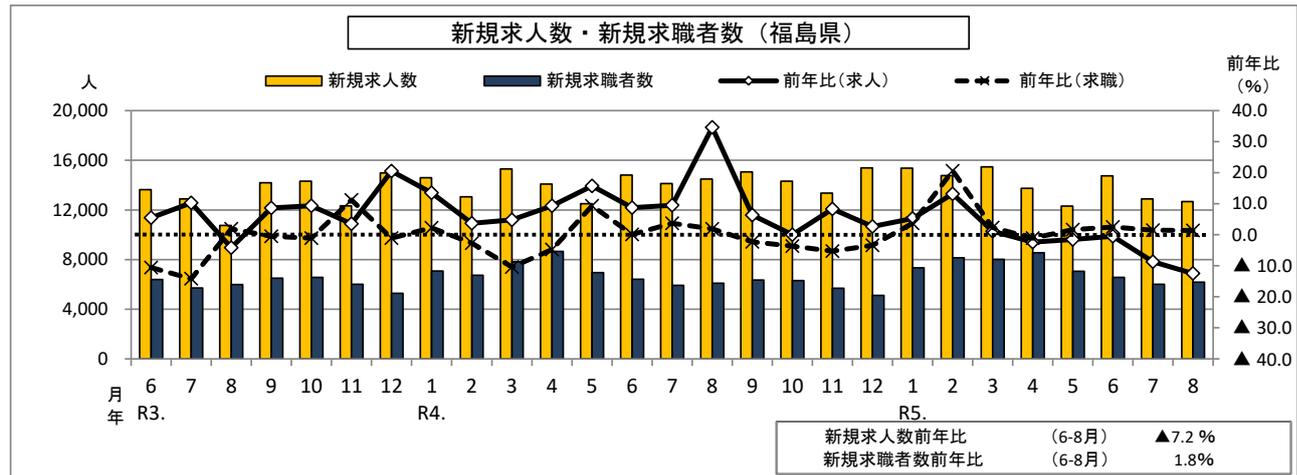
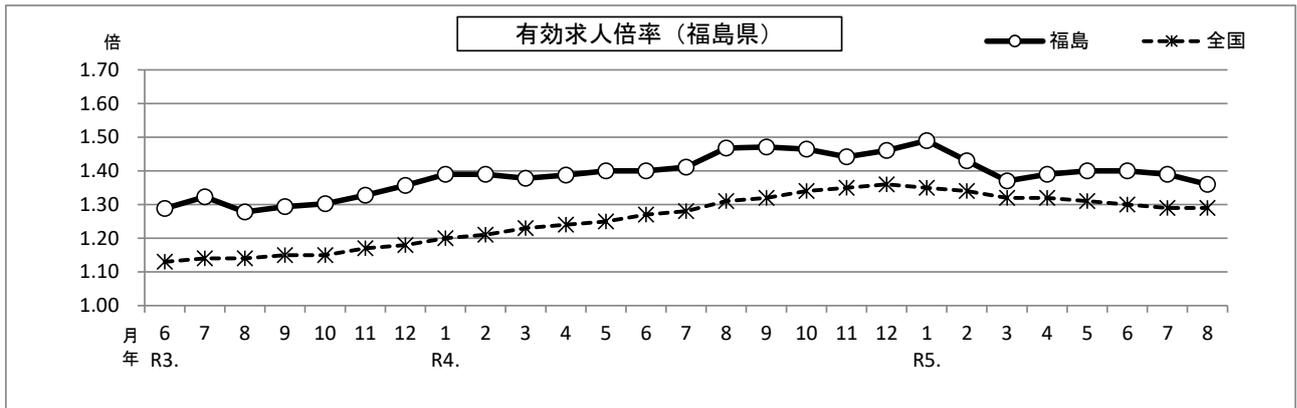
#### 4. 雇用情勢 … 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している



- (1) 有効求人倍率は、低下している。
- (2) 新規求人数は、飲食サービス業等で減少していることから、前年を下回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を上回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を下回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。

#### ～ 参考 ～

- 飲食サービス業では、昨年の大口求人への反動や、経営コストの増加により募集を見合わせる動きがみられることから、求人数が減少している。 (公的機関)
- 医療・福祉では、専門職を中心に慢性的な人手不足となっていることから、求人数が増加している。 (公的機関)
- 宿泊需要が回復しているため従業員を募集しているものの、応募が少なく、採用しても定着率が低い。 (非製造業)
- 工事の作業員不足が深刻となっており、一部の現場では計画に遅延が生じている。 (非製造業)

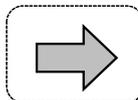


#### 雇用状況 (福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済)	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
	倍	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%	人	前年比%
4 年	1.42	14,259	9.1	6,593	▲ 1.7	5,167	▲ 7.9	6,219	▲ 3.8
4. 7-9	1.45	14,558	15.4	6,122	▲ 1.0	1,086	▲ 23.1	6,946	▲ 1.7
10-12	1.46	14,358	3.5	5,700	▲ 4.2	993	▲ 13.0	5,922	▲ 5.4
5. 1-3	1.43	15,206	6.2	7,827	8.5	1,127	▲ 6.6	5,484	▲ 6.3
4-6	1.40	13,600	▲ 1.5	7,391	0.8	2,026	7.7	5,914	▲ 3.9
5. 3	1.37	15,475	▲ 1.1	8,014	2.3	400	▲ 9.7	5,396	▲ 7.7
4	1.39	13,747	▲ 2.4	8,554	▲ 1.1	1,094	1.1	5,283	▲ 8.1
5	1.40	12,316	▲ 1.5	7,054	1.6	477	25.9	6,100	2.7
6	1.40	14,737	▲ 0.5	6,565	2.5	455	8.1	6,358	▲ 6.1
7	1.39	12,888	▲ 8.7	6,008	1.5	313	▲ 32.3	6,622	▲ 2.4
8	1.36	12,668	▲ 12.5	6,189	1.4	345	27.8	6,879	▲ 6.0
5. 6-8	—	13,431	▲ 7.2	6,254	1.8	1,113	▲ 3.5	6,620	▲ 4.9

- (注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。 [厚生労働省、福島労働局]  
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。  
 3. 4年12月以前の有効求人倍率は改定値。  
 4. 5. 6-8は今回の分析上参考とした期間。

## 5. 設備投資 … 5年度は減少見込み



法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）でみると、5年度は、製造業で増加見込みとなっているものの、非製造業で減少見込みとなっていることから、全産業では減少見込みとなっている。

### 設備投資

（前年度比増減率：％）

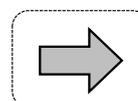
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	( 6.7 )	10.1	( ▲ 19.2 )	▲ 13.9	( ▲ 12.8 )

（注）1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. ( ) 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）」〕

## 6. 企業収益 … 5年度は増益見込み



法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）でみると、5年度は、非製造業で減益見込みとなっているものの、製造業で増益見込みとなっていることから、全産業では増益見込みとなっている。

### 経常利益

（前年度比増減率：％）

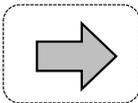
区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	5 年 度	( 9.2 )	11.9	( ▲ 4.5 )	▲ 3.3	( 2.6 )

（注）1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

2. ( ) 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）」〕

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が縮小  
 先行きは5年10～12月期に「上昇」超に転じ、  
 6年1～3月期に「下降」超に転じる見通し



法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）の企業の景況判断BSIで見ると、現状（7～9月）は、全産業では「下降」超幅が縮小している。  
 先行きは、全産業では5年10～12月期に「上昇」超に転じ、6年1～3月期に「下降」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

（前期比「上昇」-「下降」社数構成比）

（単位：%ポイント）

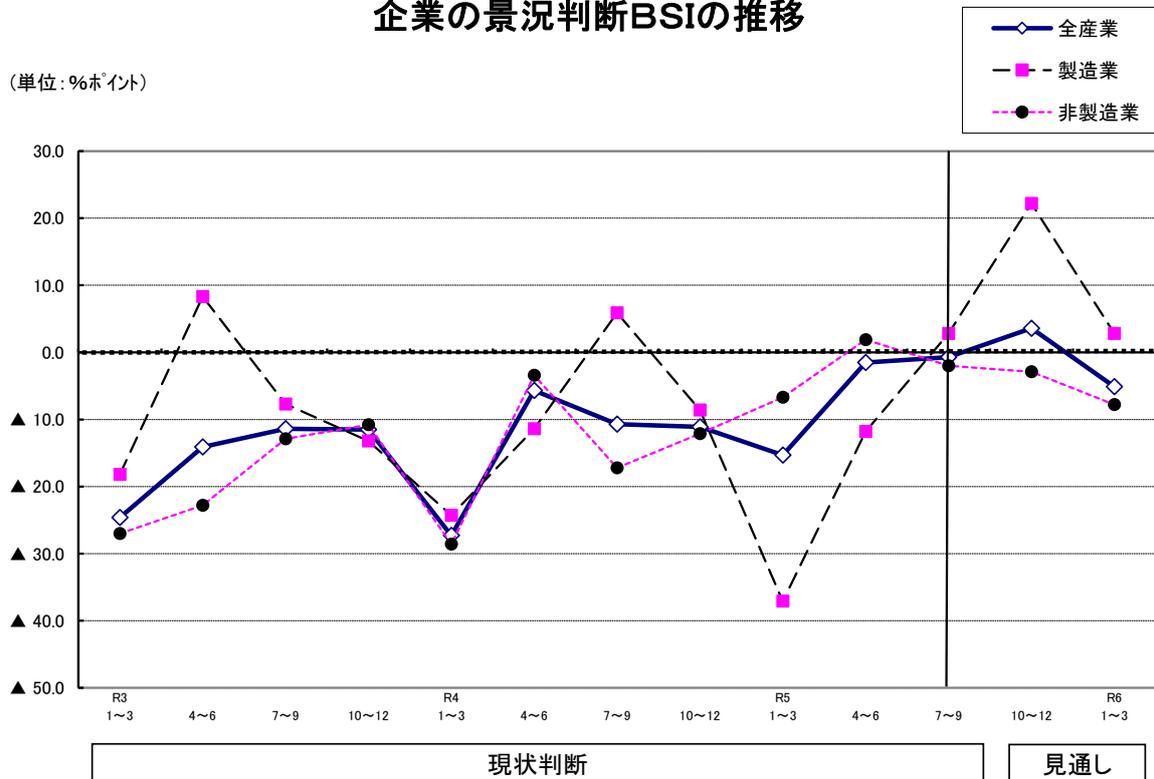
区分	5年4～6月 (5年4-6月期調査)	5年7～9月 現 状 判 断	5年10～12月 見 通 し	6年1～3月 見 通 し
全 産 業	( ▲ 1.5 )	( 11.7 ) ▲ 0.7	( 5.1 ) 3.6	▲ 5.1
製 造 業	( ▲ 11.8 )	( 8.8 ) 2.8	( 11.8 ) 22.2	2.8
非 製 造 業	( 1.9 )	( 12.6 ) ▲ 2.0	( 2.9 ) ▲ 2.9	▲ 7.8

（注）（ ）書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所「法人企業景気予測調査（5年7-9月期調査）」〕

企業の景況判断BSIの推移

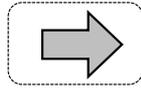
（単位：%ポイント）



BSI (Business Survey Index) の計算法

※BSI = (「上昇」と回答した企業の構成比) - (「下降」と回答した企業の構成比)

## 8. 住宅建設 … 前年を下回っている

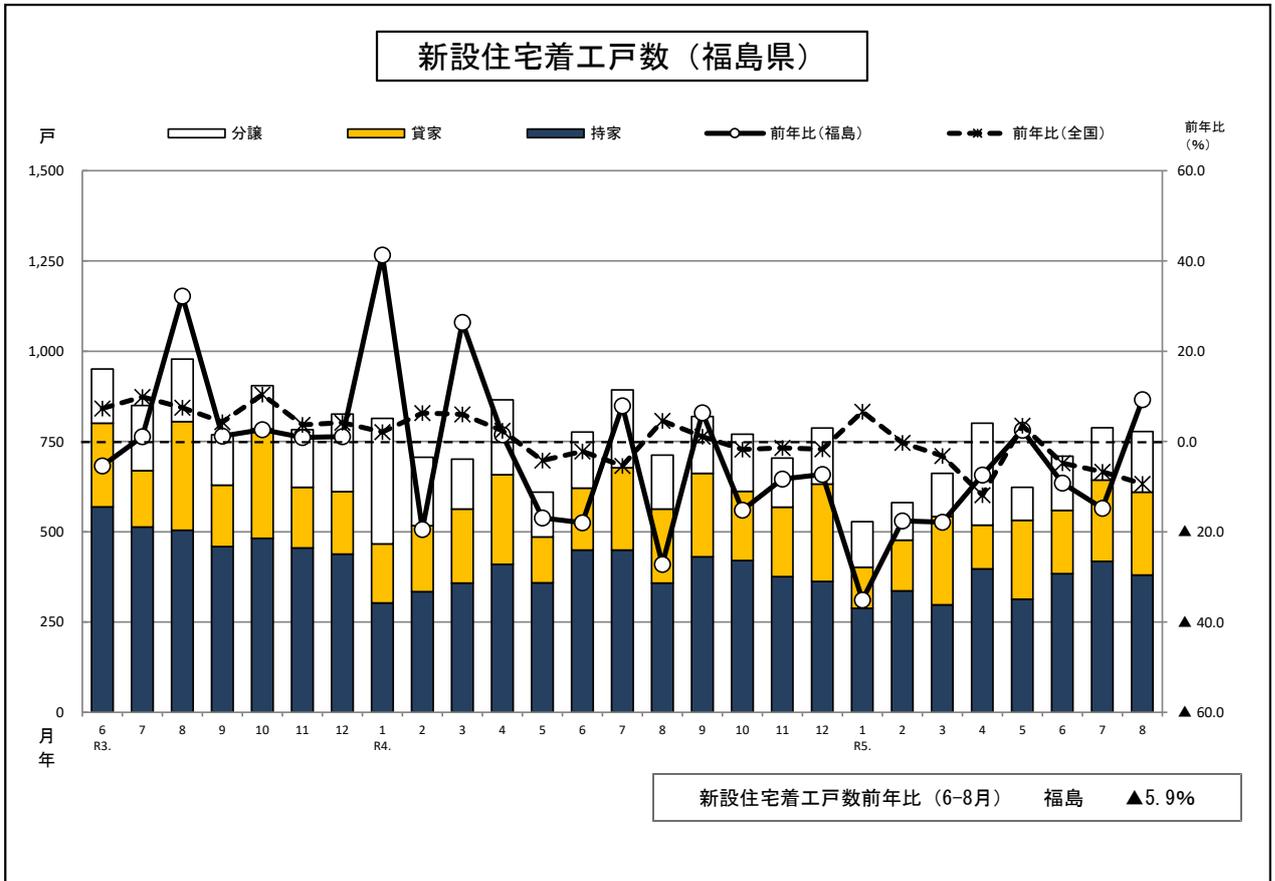


新設住宅着工戸数でみると、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲が前年を下回っていることから、全体としては、前年を下回っている。

～ <参考> 住宅建設に関する地域の声 ～

○資材価格等の上昇に伴う住宅価格の値上がりを背景に、住宅の購入マインドが低下している。

(住宅建設)



新設住宅着工戸数（福島県）

区 分	総戸数		持家	貸家	分譲	
	戸	前年比%	前年比%			
4 年	9,330	▲ 4.7	▲ 13.9	▲ 5.3	17.5	
4. 7-9	2,458	▲ 5.7	▲ 16.1	5.9	5.7	
	2,284	▲ 10.4	▲ 15.8	1.6	▲ 9.3	
5. 1-3	1,776	▲ 23.8	▲ 7.3	▲ 9.4	▲ 48.1	
	2,135	▲ 5.4	▲ 10.2	▲ 5.9	7.8	
5. 3-8	664	▲ 17.9	▲ 16.8	19.0	▲ 13.0	
	801	▲ 7.4	▲ 3.2	▲ 51.2	36.7	
	625	2.5	▲ 12.8	72.4	▲ 26.6	
	709	▲ 9.2	▲ 14.5	1.7	▲ 3.2	
	789	▲ 14.8	▲ 6.9	▲ 1.3	▲ 32.9	
	778	9.3	6.1	12.2	12.8	
	5. 6-8	2,276	▲ 5.9	▲ 5.9	4.1	▲ 11.0

(注) 5. 6-8は今回の分析上参考とした期間。

[国土交通省]

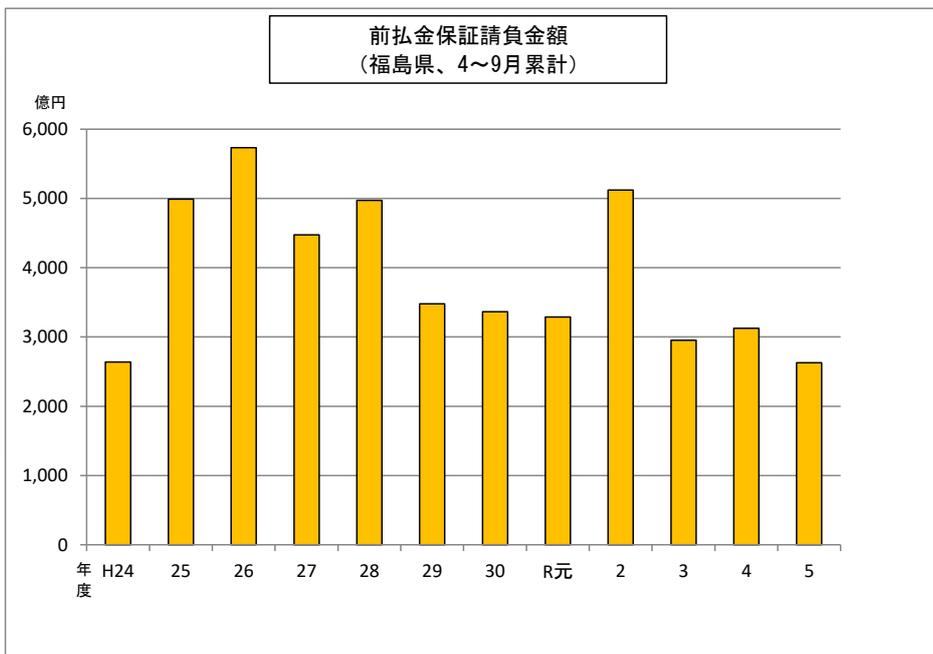
## 9. その他項目

### (1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額（累計）で見ると、前年度を下回っている

区 分	前払金保証請負金額	
	億 円	前年同期比%
24 年度	2,638	169.3
25 年度	4,989	89.1
26 年度	5,733	14.9
27 年度	4,476	▲ 21.9
28 年度	4,972	11.1
29 年度	3,478	▲ 30.0
30 年度	3,364	▲ 3.3
元 年度	3,290	▲ 2.2
2 年度	5,122	55.7
3 年度	2,953	▲ 42.3
4 年度	3,125	5.8
5 年度	2,628	▲ 15.9

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。  
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

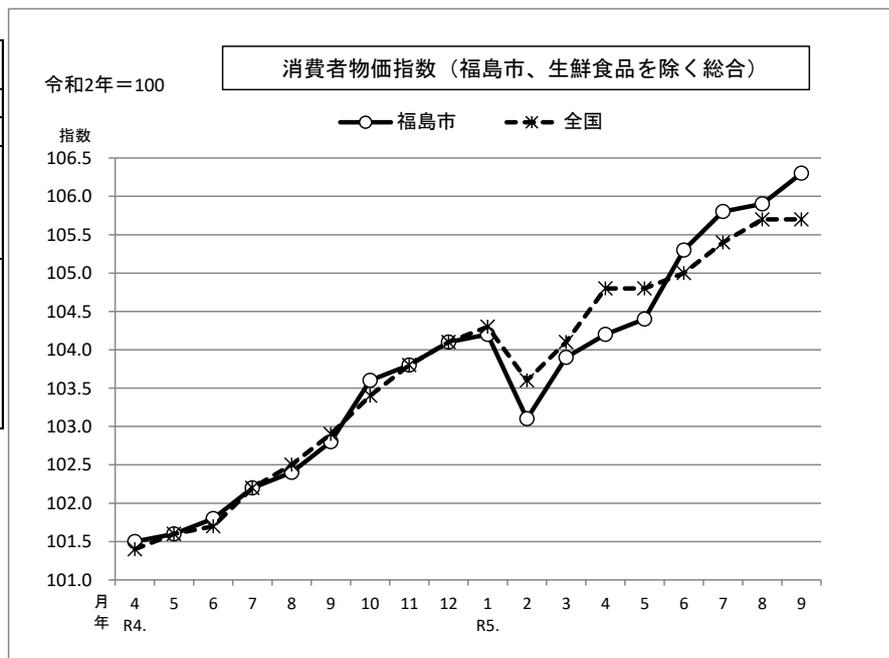


### (2) 消費者物価指数

消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている

区 分	福 島 市 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	
	指 数	前年比%
4 年	102.1	2.5
4. 10-12	103.8	3.9
5. 1-3	103.7	3.3
4-6	104.6	3.0
7-9	106.0	3.4
5. 4	104.2	2.7
5	104.4	2.8
6	105.3	3.5
7	105.8	3.6
8	105.9	3.4
9	106.3	3.3

[総務省]



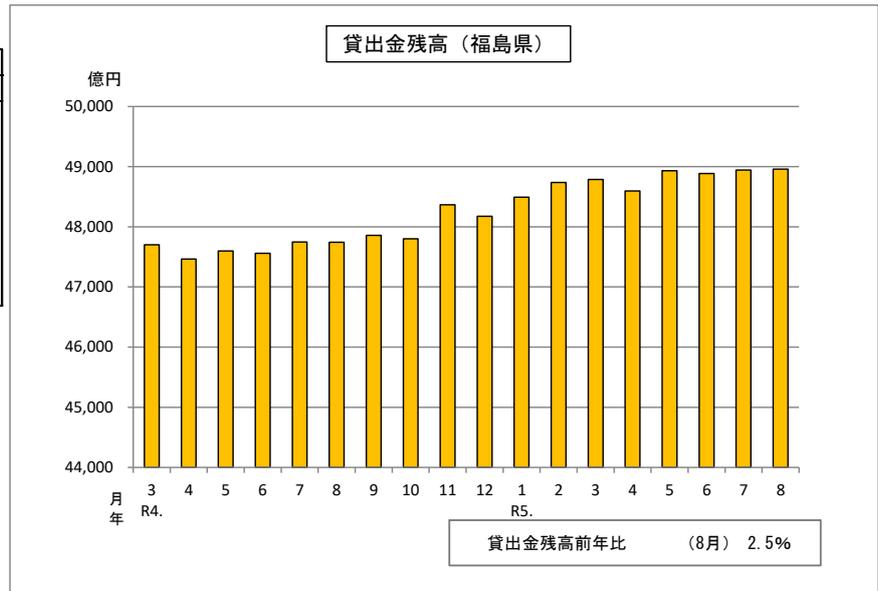
### (3) 金融状況

県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高（福島県）

区分	貸出金	
	月末残高（億円）	
5.	1	48,494
	2	48,739
	3	48,786
	4	48,595
	5	48,934
	6	48,886
	7	48,942
	8	48,960

〔注〕13銀行（県内店舗分）、8信金（全店分）ベース  
 なお、銀行については、オフショア勘定及び  
 中央政府向け貸出を除く。  
 〔日本銀行福島支店〕



### (4) 企業倒産

件数、負債総額とも前年を下回っている

企業倒産件数・負債総額（福島県）

区分	件数		負債総額	
	件	前年比%	百万円	前年比%
4年	66	32.0	12,483	14.7
4. 10-12	21	40.0	4,498	62.9
5. 1-3	18	5.9	3,821	43.5
4-6	22	69.2	4,118	111.2
7-9	14	▲ 6.7	1,340	▲ 60.3
5. 4	1	▲ 50.0	100	58.7
5	7	0.0	511	▲ 8.3
6	14	250.0	3,507	163.7
7	7	▲ 12.5	413	▲ 80.5
8	5	0.0	704	▲ 25.6
9	2	0.0	223	▲ 28.1

〔株〕東京商工リサーチ

